

# 情報連絡員総括表（2020年4月）

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 中央会・行政への要望
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(\text{好転組合数} - \text{悪化組合数}) / \text{調査対象組合数}] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○2020年4月のDI値は、前月との比較において全9指標において悪化する結果となった。主要三指標においてそれぞれDI値が2020年1月から急激に数値を落としている。「業界の景況」が-80ポイント以下になるのは2008年9月のリーマンショック後と同様の落ち込み。

新型コロナウイルス対策における助成金等の経済施策について、返済の必要がない給付金の交付や、金額や条件に制約が無い補助金を求めるコメントが寄せられている。

○「製造業」では、前月との比較において、「販売価格」が改善、それ以外の8指標において悪化する結果となった。

「緊急事態宣言」の影響で自宅での食事が増えたことから、スーパーや備蓄食品等の売上は増加したとのコメントもあるが、外食や観光業への食品の売上は減少している。

○「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」が改善、それ以外の7指標において悪化する結果となった。

「緊急事態宣言」を受け、更に景況が悪化している。廃業した組合員も出ているとのコメントが寄せられている。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2020年4月	-86.6	0.0	-23.3	-40.0	-80.0	-70.0	-83.3	-40.0	-86.7
2020年3月	-66.7	-2.3	-13.3	-21.6	-65.0	-41.7	-56.7	-31.7	-70.0
増減	-19.9 ↓	2.3 ↓	-10.0 ↓	-18.4 ↓	-15.0 ↓	-28.3 ↓	-26.6 ↓	-8.3 ↓	-16.7 ↓

## 2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2020年4月	-90.0	-16.7 ポイント	↓	-83.3	-23.3 ポイント	↓	-86.6	-19.9 ポイント	↓			
	2020年3月	-73.3			-60.0			-66.7					
在庫数量	2020年4月	6.7	6.7 ポイント	↓	-15.4	-7.7 ポイント	↑	0.0	2.3 ポイント	↓			
	2020年3月	0.0			-7.7			-2.3					
販売価格	2020年4月	-6.6	0.1 ポイント	↑	-40.0	-20.0 ポイント	↓	-23.3	-10.0 ポイント	↓			
	2020年3月	-6.7			-20.0			-13.3					
取引条件	2020年4月	-33.4	-13.4 ポイント	↓	-46.7	-23.4 ポイント	↓	-40.0	-18.4 ポイント	↓			
	2020年3月	-20.0			-23.3			-21.6					
収益状況	2020年4月	-80.0	-6.7 ポイント	↓	-80.0	-23.3 ポイント	↓	-80.0	-15.0 ポイント	↓			
	2020年3月	-73.3			-56.7			-65.0					
資金繰り	2020年4月	-66.7	-26.7 ポイント	↓	-73.3	-30.0 ポイント	↓	-70.0	-28.3 ポイント	↓			
	2020年3月	-40.0			-43.3			-41.7					
設備操業度	2020年4月	-83.3	-26.6 ポイント	↓	/				-83.3	-26.6 ポイント	↓		
	2020年3月	-56.7			-56.7								
雇用人員	2020年4月	-36.7	-6.7 ポイント	↓	-43.3	-10.0 ポイント	↓	-40.0	-8.3 ポイント	↓			
	2020年3月	-30.0			-33.3			-31.7					
業界の景況	2020年4月	-90.0	-10.0 ポイント	↓	-83.3	-23.3 ポイント	↓	-86.7	-16.7 ポイント	↓			
	2020年3月	-80.0			-60.0			-70.0					

### 今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況			
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化		
製造業	食料品	1	3	1	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2		
	繊維工業	0	3	2	0	0	0	0	1	0	3	0	3	0	3	0	1	0	3		
	木材・木製品	0	5	1	1	1	1	0	2	0	4	0	3	0	5	0	2	0	5		
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	印刷	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1		
	窯業・土石製品	0	3	1	0	0	0	0	1	0	3	0	2	0	1	0	2	0	3		
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	1	0	2		
	一般機器	0	4	1	0	0	1	0	2	0	3	0	3	0	4	0	0	0	4		
	電気機器	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1		
	送用機器	0	5	1	2	0	0	0	3	0	5	0	3	0	5	0	2	0	5		
その他	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1			
非製造業	卸売業	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	/				0	1	0	3
	小売業	0	5	1	2	1	3	0	4	0	5	0	5					0	2	0	5
	商店街	0	5	1	1	0	4	0	1	0	5	0	5					0	2	0	5
	サービス業	0	4	/		0	3	0	4	0	4	0	4					0	3	0	4
	建設業	0	4			1	1	0	2	0	4	0	4					0	4	0	3
	運輸業	0	5	0	2	0	2	0	2	0	4	0	3					0	2	0	5

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で、飲食店・観光業への卸が激減している反面、スーパー等小売業への取引が拡大している。</li> <li>新型コロナウイルスの影響で、缶詰など備蓄の可能な食品を製造している組合員は増産傾向にあり好調である。一方、冠婚葬祭や観光地の土産物店を販売先としている組合員にとっては、販売数量の減少、製造量の減少による資金繰りの悪化が重くのしかかっている。パート社員や派遣社員にもゴールデンウィークの休暇を長めに取らせるなどして対応しているが、収束の目途が立たなければ契約解除もあり得る。</li> </ul>
製茶業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新茶の季節となり需要増が期待されたが、新型コロナウイルスの影響で販売量が不透明な為慎重な仕入をする傾向にある。</li> </ul>
パン	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で学校の休校や在宅勤務の増加、また外食を控える人が増えた為、店頭でのパンの売上が多少増加した。</li> </ul>
織物業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で、百貨店や店舗の営業自粛している為、組合員が生産する織物を原材料として使用しているアパレルの業績が、一層低迷し、売場→アパレル→原材料メーカーと連鎖的に破綻することが心配される。組合員は既に受注が大幅に減少し、小規模・零細事業者ばかりなので非常に厳しい状況。首都圏の展示会は、開催自体が不透明なことに加え、現状では資金的な余裕が無いことから出展が出来ない。また、補助金を活用するにしても制約が多く利用が難しく、八方塞がりの状況。</li> <li>新型コロナウイルスの影響で、祭事のほとんどが中止せざるを得ず、ゆかたの売れ行きは不振、その他の商品も影響があり、新規受注がほとんど無い状況。</li> </ul>
造作材・合板 建築用組立材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上の的には大きな落ち込みは無かったが、数日の休業を実施した。</li> </ul>
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で、営業活動やイベントの自粛、営業時間の短縮により対前年同月比マイナス24%という厳しい状況。今後益々影響が出てくることを危惧している。</li> </ul>
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの直接的影響が見えにくいものの、景況感の厳しさは増している。</li> </ul>
紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレットペーパーの出荷については新型コロナウイルスの影響で荷動きが良いが、運送に関しては運搬会社の運転手不足の問題がある様子。</li> </ul>
印刷業	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に売上が減少しており、特にチラシ印刷受注での売上げは対前年同月比25%減となった。</li> <li>新型コロナウイルスの影響でイベントの中止や経済活動が自粛されていることから、新聞への折り込みチラシが大幅に減少しており、倒産・廃業する企業が増加することを懸念する。</li> </ul>
セメント製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスに関係なく、売上が対前年比65.6%であった。今の処理工期について遅延、見直し等が出てくる恐れがあり予断を許さない状況。</li> </ul>
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月、6月の更なる景況の悪化が危惧される。自動車業界の操業中止による影響が大きい。</li> <li>新型コロナウイルスの影響で生産数量が減少している。業種ごとで差異(20%~70%減)はあるが、先行きへの不安も拭い去れず厳しい状況である。</li> </ul>
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で生産量が下がり続けている。新しい機械設備のために補助金の利用等も考えていたが、辞退する企業も出ている。</li> <li>受注が減少しており、売上げは今年に入ってから昨年の3分の1になっていてこのままでは存続するのが不可能になりそうとの組合員がある。工場移転が進んでおり資金繰りが厳しくなっている。新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか不安である。</li> <li>1年以上先への納期延期、設備投資意欲低下による新規受注の減退により、先行きが見通せない状況。</li> </ul>
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>主力発注元が、新型コロナウイルスの影響で1週間の臨時休業した為、売上が減少した。来月以降の新型コロナウイルスの対策状況と最終製品の販売動向を注視している。</li> </ul>
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で操業縮小など生き残りを模索中の企業も生じ始めている。</li> <li>感染拡大防止対策として4月当初全組合員に消毒用次亜塩素酸水を無料配布をした。</li> <li>新型コロナウイルスの影響で、完成車メーカーの稼働停止が増えており、減産による影響が拡大している。また、終息の見通しが立たない中、変動人員の調整も難しい状況にある。</li> <li>新型コロナウイルスの影響で、オートバイ部品、自動車部品製造業者は4月後半から5月中旬まで休業している組合員が多い。一方、設備関連企業については、経済活動自粛によるメンテナンス等の依頼が増えており、県外移動自粛において出張要請などの対応に苦慮する場面も多くあるようである。</li> <li>鉄くず等回収業者においては、取扱数量が少なくなるも定例回収を求める声も多いため、休業できず採算性の悪化が続いている。</li> <li>受注が大幅に減少し、操業日数を短縮した組合員もある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で、親会社の製造ラインの操業の減少あるいは部分的一時停止等があり、先の見通しが立たず暫くこの状況が続くと思われる。</li> </ul>

## 非製造業

セメント卸売業 各種商品卸売業 寝具小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月出荷は微減となったが、今後新型コロナウイルスの影響で需要悪化が懸念される。</li> <li>組合員1社が破産した。</li> <li>変わらず厳しい状況が続いている。手作りマスクの販売を始めている。</li> </ul>
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>外食を控えて自宅で食事する人が増えた為、鮮魚小売り店及びスーパーの販売額は前年をやや上回った。</li> <li>外食産業に納入する業務卸を主とする業者の販売額は前年を大きく下回り、先行き不透明の状況が今後も予想される。</li> </ul>
燃料小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>石油製品販売業界は新型コロナウイルスのリスクが考えられる中、物流を支える血液として休業することなく営業している。</li> <li>休業要請により休業を余儀なくされた他業界と比べれば日々の営業利益があるが、一般車両の通行量の減少やこのところの原油安の影響による販売単価の低下などにより前年度比30～40%の売上が減少している。</li> </ul>
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響が甚大で、特に飲食業では廃業も始まった。</li> <li>対前年比50%以下の加盟店も多い。テナントは、家賃の支払が大変との声が聞かれる。影響が長引けば、退店するところもあるのではと懸念される。</li> <li>新型コロナウイルスの影響で営業を自粛した店舗が3分の1程度あり、全体としてはかなり厳しい状況となった。協力金が出ない業種も多く、直近の資金繰りに苦慮している。</li> <li>新型コロナウイルスの影響で、給食など学校関係の取引、祭りや会議など各種イベント等の中止が大きな痛手となっている。</li> <li>休業している店舗も多く人の動きがなくなっているため小売業が危機的状況。</li> </ul>
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で、全組合員のうち約9割が休業している。新型コロナウイルスが発生した2～3月の来遊客の減少に加え、ゴールデンウィークの休業による減収は企業の存続を揺るがす事態となっている。それに関連して旅館ホテルへの出入り業者（食品関係やリネン等の委託業者）への連鎖も発生し大きく影響を及ぼしている。</li> </ul>
情報サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響により、大手企業間での会議、打ち合わせがリモートワーク（テレワーク）で現地への移動がなくなった。時差出勤や公共機関禁止等移動時の対策をする組合員も増加している。企業からの発注タイミングがずれる可能性が大きい。</li> </ul>
ビルメンテナンス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で大学が休校していることから、取引先の大学から契約金減額等の要請が発生している。</li> </ul>
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で、工事の中断や現場への入場規制等がある。住宅設備機器類は不足ながらも入手はできる状況。</li> <li>大手建設会社の工事中断の影響により東京・神奈川で仕事をしていただ下請け・孫請け会社、特に職人が仕事を求めて近隣の地方へ来ている現場があり、新型コロナウイルス感染防止対策に追われている。</li> </ul>
電気工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で、設備投資の減少に伴い工事受注が減少している。</li> </ul>
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規物件に関して、民間工事を中心に、中止、延期、計画変更などの声が聞かれ始めている。先行きが不透明となっており新型コロナウイルスの動向に注視している。</li> </ul>
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急事態宣言発令後、荷物情報の減少が続いている。全体として先月より輸送量は減少している。自動車会社や大手ゼネコンの操業縮小により荷物量も減少している。</li> <li>新型コロナウイルスの影響で、学校の休校、在宅勤務の増加により食品関係の出荷は増加。荷物が減少しているため運賃が値下げ傾向であり、先行きの懸念が増している。</li> <li>新型コロナウイルスの影響で首都圏向けの荷動きが悪い。原油価格下落によりコストは下がっている。</li> <li>取引先の稼働日数減少により売上げが減少している。</li> </ul>
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で、各地のイベント中止や海外を含めた観光客など人の動きが止まってしまい、対前年比で3月の営業収入は3～4割落ち込み、4月に入り5割以上、更に緊急事態宣言発令後は、日を追うごとに悪化している。一方で、公共交通においては日々の生活を支える社会インフラとして所管庁から事業活動の継続が求められていることから、赤字が膨らみつつあるばかりである。「このまま行くと秋まで持たない」との声も聞かれ、5月末で廃業を決めた事業者も出ている。</li> </ul>

## 4.中央会・行政への要望

- 新型コロナウイルス関連情報は多数あるが、国、静岡県、各市町村の連携が感じられず重複情報が多くあり過ぎる。また提供の仕方についても、様々なスタイルがあり過ぎて理解しにくく、行政の混乱が伺える。
- 今後も新型コロナウイルスによる影響が様々なところに出てくる点を考え、多くの意見を求めると同時に負担の公平化を図るような施策の立案を望む。
- 新型コロナウイルスに関連する各種の中小企業支援策のタイムリーな紹介と適用支援を要望する。
- 今ある助成金施策は金額や条件の制約が多く、少しでも費用を抑えたい中小零細企業にとっては活用しにくい。生き残りをかけて活動をしようとしている中小零細企業に対し、本当に活動の支援となるような施策を望む。
- 新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続く中、低利や実質無利子の貸付制度、雇用調整助成金などの施策があるが、返済の見通しが全く立たず、助成金も事業者負担が赤字を膨らませるとの懸念などもあり、制度導入を敬遠する動きがみられる。最低賃金を補償し事業活動を継続するには、返済の必要がない給付金や補助金の交付が必要不可欠である。

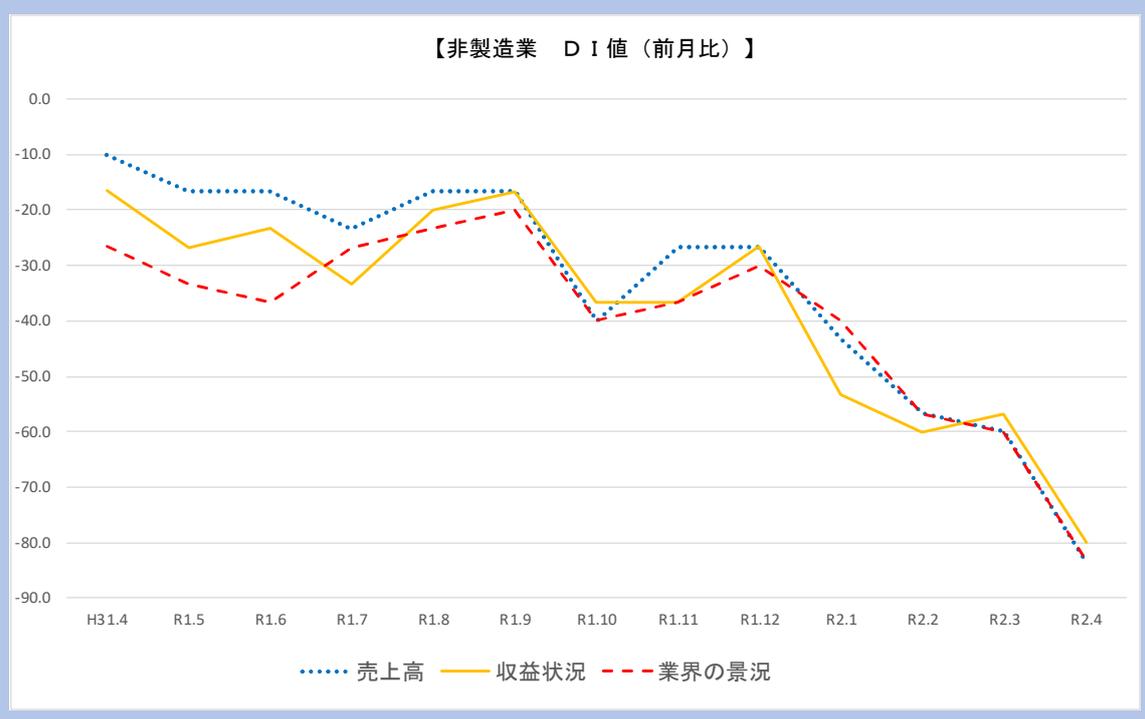
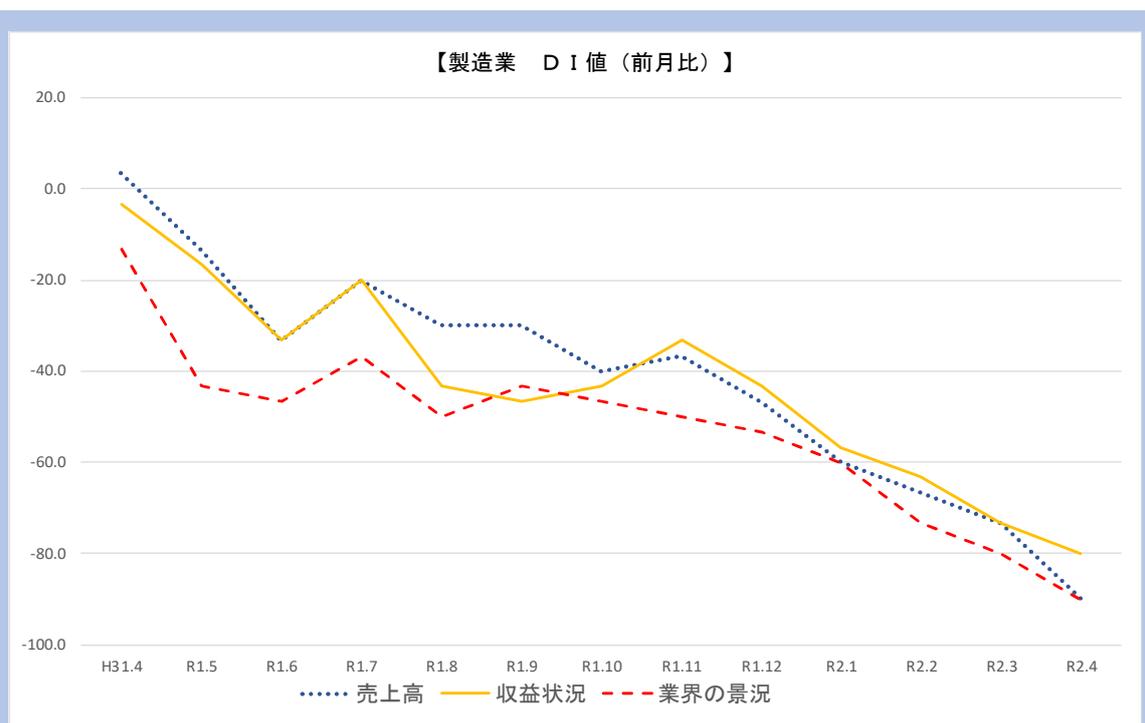
## 5. 主要三指標における DI 値の推移

■2019年3月期～2020年3月期までの推移

全体	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
売上高	-3.3	-15.0	-25.0	-21.7	-23.4	-23.3	-40.0	-31.6	-36.7	-51.7	-61.7	-66.7	-86.6
収益状況	-10.0	-21.7	-28.3	-26.6	-31.7	-31.6	-40.0	-35.0	-35.0	-55.0	-61.7	-65.0	-80.0
業界の景況	-20.0	-38.3	-41.6	-31.7	-36.7	-31.6	-43.3	-43.4	-41.6	-50.0	-65.0	-70.0	-86.7

製造業	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
売上高	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0
収益状況	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0
業界の景況	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0

非製造業	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
売上高	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3
収益状況	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0
業界の景況	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3



■2019年3月期～2020年3月期までの推移

売上高	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
製造業	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0
非製造業	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3

収益状況	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
製造業	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0
非製造業	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0

業界の景況	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
製造業	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0
非製造業	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3

